

スコア順位		Description	GI	分子量	システイン 残基数	Ratio		Score(H)		Score(L)		Protein Coverage(H)		Protein Coverage(L)	
A47	QSTAR					A47	QSTAR	A47	QSTAR	A47	QSTAR	A47	QSTAR	A47	QSTAR
276		myosin XV, unconventional myosin-15	gi22547229	395219.5	45	N/A					20.2				0
277		chemokine (C-C motif) receptor 8; chemokine (C-C) re	gi4885121	40844.4	14	N/A					20.2				2
278		PERQ amino acid rich, with GYF domain 1; postmeioti	gi12007656	89740.9	10	N/A					20.2				1
279		vacuolar protein sorting 29 isoform 1; vacuolar sorting	gi7706441	20505.7	3	0.72					20.2				3
280		hypothetical protein MGC48986	gi28557703	31064.9	7	N/A					20.1				5
281		D site of albumin promoter (albumin D-box) binding pr	gi1542493	34348.9	2	0.57		20.1					5		
282		transducin-like enhancer protein 2; transducin-like enh	gi21361151	79841.0	21	0.80		16.1			20.1		2		2
283		hypothetical gene MGC16309	gi15529980	35339.8	6	0.61		20.0					7		
284		splicing factor, arginine/serine-rich 1 (splicing factor 2,	gi5902076	27744.8	2	1.79		20.0					6		
285		super conserved receptor expressed in brain 3	gi9507143	41481.4	15	N/A					20.0				5
286		hypothetical protein XP_211108	gi27479549	10737.6	5	1.41					20.0				17

その結果、本画分(SCX50 画分)を ABI-4700 で解析し、Rank 1 で Peptide での Mascot score が 30 以上のものを選択すると、158 種類のたんぱく質の同定と比較定量が可能であり、Peptide Score を 20 以上とすると、約 286 種類が同定・定量された。一方、同様に SCX50 画分を C18-nanoLC/Q-Star system で解析した場合は、Rank 1, Peptide Score が 20 以上のものを選択すると、119 種類のたんぱく質が同定および定量が可能であった。なお、ここでいう「同定」とは、Mascot によって基準以上のスコアでヒットしたことを意味しており、偽陽性の結果の排除等の精査を経た最終的な同定数については、別途検討する必要がある。

また、殆どのたんぱく質のH鎖標識/L鎖標識比(比較定量値)は約1であったので、cICAT法による比較定量法は基本的には満足するものと考えられた(後述)。しかし、一部のものはScoreが低いときは、定量値が1より大きくずれるものがあった。このような場合は、データを詳細に再検討すると、他のペプチドがスペクトル上で重複している場合が多かった。

ABI-4700でのトップ119種類とQ-Starでのトップ119種類を比較検討したところ、両者の共通なたんぱく質は80種類であり、Q-Starでのみ同定・定量されたものが39種類、ABI-4700でのみ同定・定量されたものが39種類であり、どちらか一つでも同定・定量されたものは合計158種類であった(図9A)。一方、ABI-4700およびQ-StarでScoreが20以上のものを選択すると、両者で共通なものは94種類、Q-Starでのみ同定されたものが25種類、ABI-4700でのみ同定されたものが192種類であり、どちらか一つでも同定されたものは合計311種類であった(図9B)。

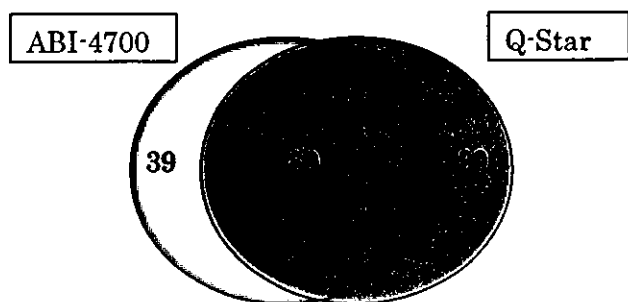


図 9 A. Diagrammatic Representation of Top 1-119 Proteins Detected in Normal Human Serum by Q-Star XL and ABI-4700 System

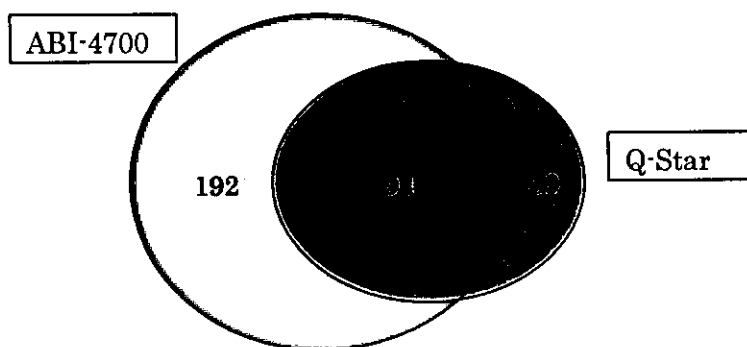


図 9 B. Diagrammatic Representation of All proteins Detected in Normal Human Serum by Q-Star XL and ABI-4700 System

図 10, 11 は、それぞれ Q-Star および ABI-4700 のランク(#1-119) 種類までのたんぱく質種類のカテゴリー分類を示す。いずれの場合も、上位は、すでに血清中に存在が報告されている、補体たんぱく質系、線溶・凝固たんぱく質系、血清糖たんぱく質系、結合たんぱく質系、リポたんぱく質系、接着たんぱく質系、プロテアーゼ系、プロテアーゼインヒビター系、キニン系等などであった。また、Q-Star と ABI-4700 ではカテゴリー分類（上位 119 種類に関して）に、

特に大きな差はなかった。

一方、ABI-4700 のランク(#1~119)と、ランク(#120~200)、ランク(#201~286)までのカテゴリー分類を比較すると(Data not shown)、ランクがさがるにつれて、補体、線溶・凝固系のたんぱく質は減っていき、その代わりに、おそらくは細胞内からリークしたと思われるより微量な各種細胞質構造たんぱく質、プロテインキナーゼ系、プロテインホスファターゼ系、核内受容体関連たんぱく質系、機能不明たんぱく質等が増加する傾向が観察された。

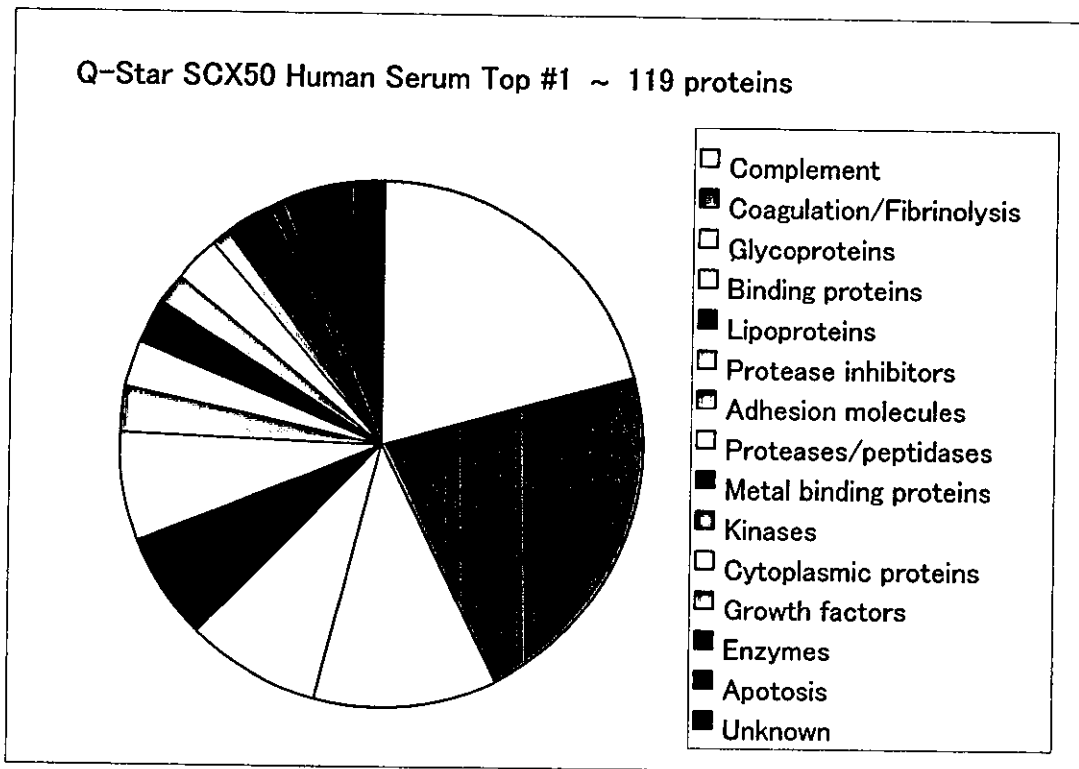


図 10. Categories of Top # 1~119 Proteins Detected in Normal Human Serum by Q-Star XL System.

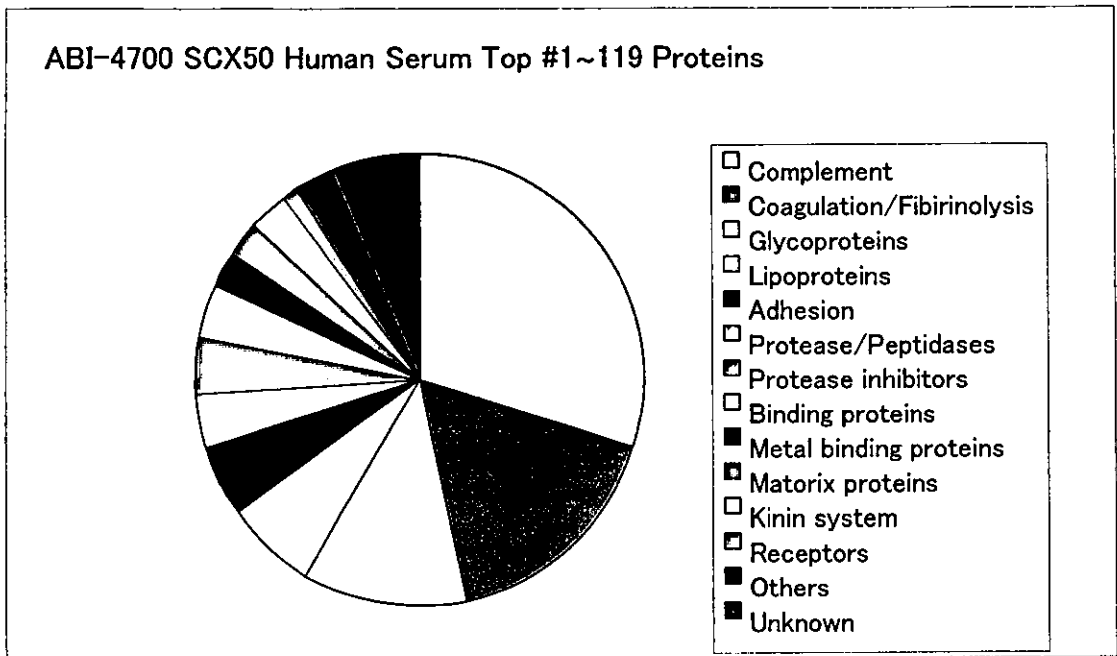


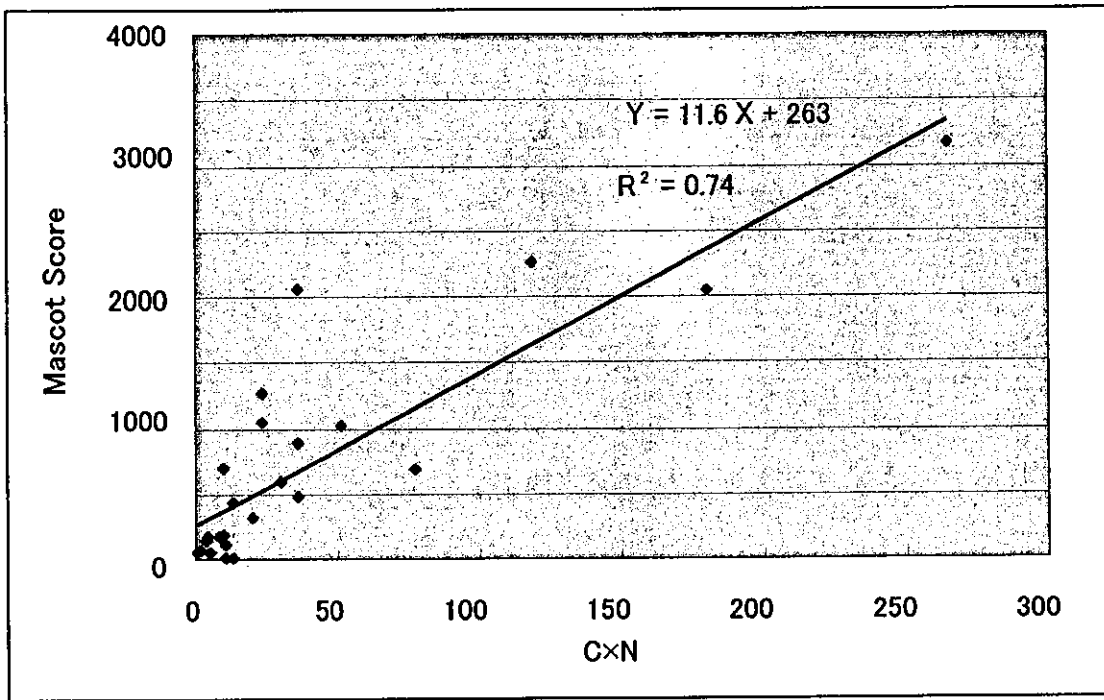
図 1 1. Categories of Top # 1~119 Proteins Detected in Normal Human Serum by ABI-4700 System.

さて、cICAT 試薬はたんぱく質中の Cys 残基に特異的に反応するとされる。従って、たんぱく質のモル濃度が高く、かつ Cys 含有ペプチドが多いほど良く反応し、同定の Score 値は高くなると考えられる。すなわち、濃度が高くても Cys 含有ペプチドが少なければ Score 値は低く、逆に濃度が低くても Cys 含有ペプチドが多ければ、Score 値は高くなる。そこで、表 2 の中から、血中濃度がすでに測定されている補体系たんぱく質と線溶・凝固系たんぱく質を選択(表 3)、各たんぱく質 (H 鎖標識+L 鎖標識) の同定 Score (S)と、その血清モル濃度(C (μM))およびその Cys 残基数(N)との関係を調べた(図 1 1, 1 2)。その結果、Score (S)を Y 軸に、モル濃度(C) × Cys 残基数(N)(:Cys モル濃度)を X 軸のプロットしたところ、ABI-4700 でも Q-Star を用いた場合でも、Y と X 値は正の相関が見られた(ABI-4700:  $Y = 11.6 X + 263$ ,  $R^2 = 0.74$ , 図 1 1), Q-Star:  $Y = 6.86 X + 172$ ,  $R^2 = 0.69$ , 図 1 2)。このことは上述の推論を支持するものである。

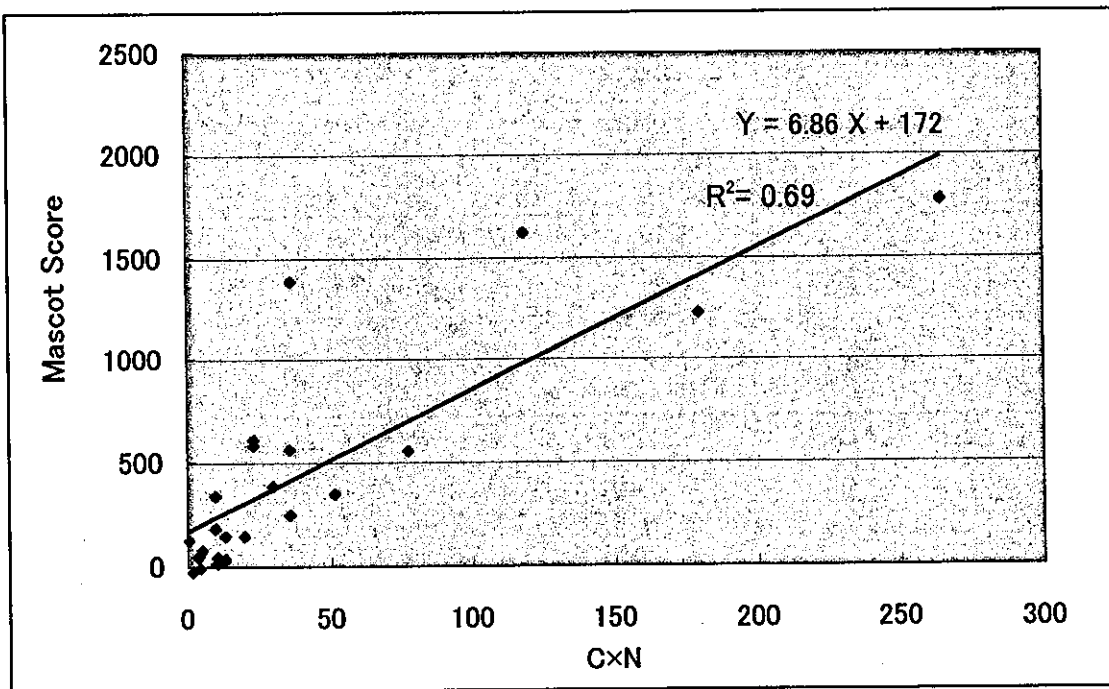
表 3. 主要血清たんぱく質の濃度(C)・Cys 残基数(N)および Mascot スコア(S)

たんぱく質名	血中濃度 (C) ( $\mu$ M)	システイン 数(N)	C×N	スコア (ABI-4700)	スコア (Q-Star)
complement component 1, q subcomponent, alpha	2.6	5	13.2	17.7	38.4
complement component 1, q subcomponent, beta	2.6	4	10.5	11.9	48.4
complement component 1, q subcomponent, gamma	2.6	4	10.5	114.0	15.3
complement component 1, r subcomponent	1.3	27	35.8	892.6	565.5
complement component 1, s subcomponent	1.3	27	35.8	484.8	251.3
complement component 2	0.23	24	5.46	64.0	126.5
complement component 3	6.7	27	180.0	2039.2	1225.3
complement component 4	1.9	27	51.4	1021.8	354.2
complement component 5	0.44	30	13.3	443.4	151.5
Complement component 6	0.47	64	30.0	598.5	392.1
complement component 7	0.41	56	23.1	1274.2	583.7
complement component 8, alpha	0.33	30	9.80	705.3	340.2
complement component 8, beta	0.33	30	9.80	193.4	189.6
complement component 8, gamma	0.33	3	0.980	55.2	122.0
complement component 9	0.76	26	19.7	321.0	150.8
complement factor B	3.2	24	77.4	682.0	560.4
complement factor D	0.065	9	0.587	57.8	
complement factor H	3.2	82	264.5	3164.8	1774.8
I factor (complement)	0.56	42	23.3	1052.7	610.0
plasminogen	2.5	48	118.5	2260.1	1614.1
coagulation factor II precursor; prothrombin	1.4	26	36.1	2056.8	1383.4
coagulation factor V precursor; labile factor; factor V Leiden	0.20	20	4.00	143.8	105.9
coagulation factor X precursor; prothrombinase; factor Xa	0.20	24	4.80	180.5	44.4
coagulation factor IX; Coagulation factor IX (plasma thromboplastic component)	0.091	24	2.18	77.0	30.2
Coagulation factor VIII VWF (von Willebrand factor)	0.037	234	8.67	173.8	

文献(稲井真彌・井上公蔵・田村昇共著医歯薬出版株式会社・補体学など)より得た各たんぱく質の分子最および血中濃度( $\mu$ g/ml)より算出した血中のモル濃度 C( $\mu$ M)およびアミノ酸配列情報から算出した Cys 残基数(N)および両者の積(C×N)と ABI4700 と Q-Star の測定結果に対する Mascot 検索を実施して得たスコア(S)を示した。Mascot 検索は HiSpec 上で実施しているため実際は ICAT-light と ICAT-heavy の標識ペプチドのスコア値が別々に算出されている。表中のスコアは両スコアを合算している。



☒ 11. Correlation between Mascot Score and Cys Concentration (C x N) of Proteins in Serum Detected by ABI-4700 System.



☒ 12. Correlation between Mascot Score and Cys Concentration (C x N) of Proteins in Serum Detected by Q-Star XL System.

#### 4) Spike sample(Lactoglobulin)を用いた ICAT 比較定量解析

前述のように、殆どの血清中のたんぱく質のH鎖/L鎖比(比較定量値)は約1であったので、cICAT法による比較定量法は基本的には満足するものと考えられる。このことをさらに確実にするために、血清中に既知量のSpike sample (Lactoglobulin)の量比を2~40倍に変えて添加したサンプルを、それぞれH鎖試薬、L鎖試薬で標識し、比較定量解析を行った(HiSpec ICAT比較定量ソフトを使用)。その結果、血清たんぱく質は前述と同様に殆どH鎖とL鎖の量比(H/L鎖比)は約1であったが、SpikeしたLactoglobulinの同定ICATペプチド(WENDECAQK)の量比は、2~20倍までのスパイク比と直線関係であり、ほぼ正確なICAT比較定量結果を示した(表4、図13)。このことは、cICAT法はスペクトルの重なりやIntensityの弱いものを除けば、2~20倍の発現差であれば正確に比較定量が可能であることを示すと考える。

表4. Spike sample(Lactoglobulin)を用いた HiSpec(ICAT 比較定量ソフト)による ICAT 比較定量解析

#### ABI-4700 の cICAT 比較定量結果

Description	Peptide Sequence	測定値1 (H//L)	測定値2 (H/L)	平均値(H/L)	Spike 比 (H/L)
lactoglobulin, beta	WENDECAQK	1.39	1.18	1.29	1.5
lactoglobulin, beta	WENDECAQK	2.14	2.33	2.23	2
lactoglobulin, beta	WENDECAQK	3.89	4.09	3.99	5
lactoglobulin, beta	WENDECAQK	8.34	9.60	8.97	10
lactoglobulin, beta	WENDECAQK	20.13	17.34	18.74	20
lactoglobulin, beta	WENDECAQK	28.99	35.27	32.13	40

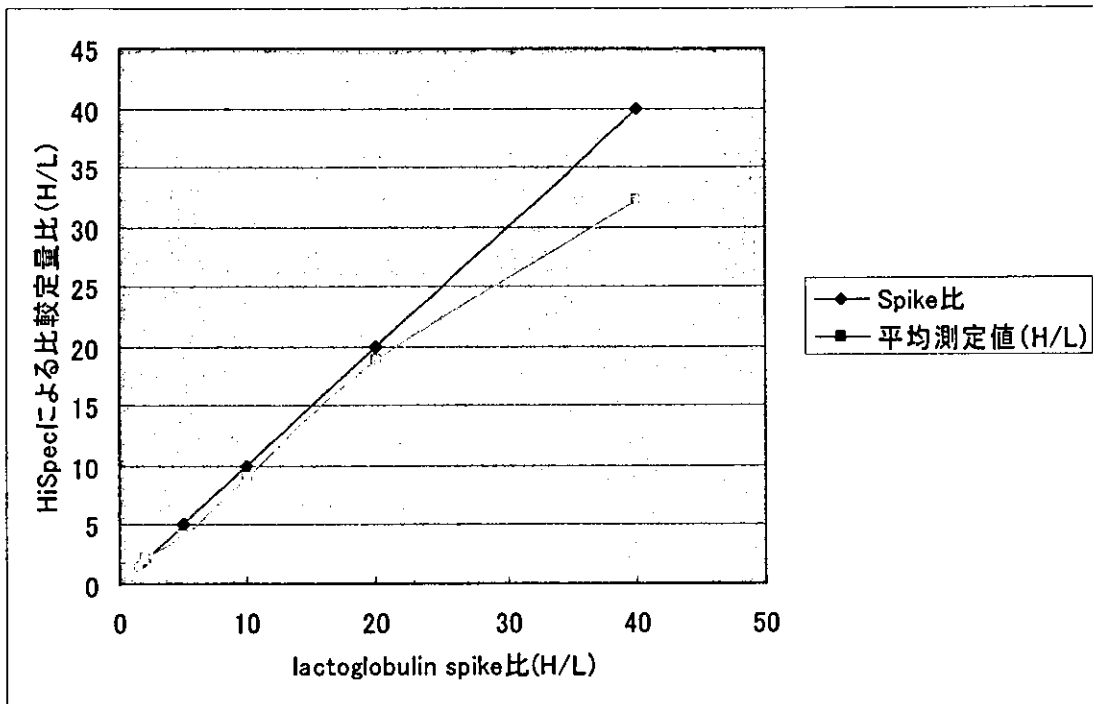


図13. ICAT 比較定量ソフト (HiSpec) による ICAT 比較定量比と Spike 比との関係

#### E. 考察：

本年度は、施設内の倫理審査委員会、個人情報保護のための匿名化システム、試料機器管理システム (LIMS)、情報セキュリティシステムを構築することで、研究協力機関からの臨床試料の受け入れ体制を整えたと考える。また、ヒト標準血清を用いて、同位体標識法 (cICAT 法)、前処理法、質量分析法、大量たんぱく質同定法を含む一連の解析システムを検討した結果、本システムが血清疾患関連たんぱく質 (トップ#1~100 種類) 解析に有効な方法であると考えた。今後はさらに、ハイスループット性の高く、感度が高い解析システムを完成させ、研究協力機関より提供される患者臨床試料 (血清) の解析に望みたい。なお、cICAT 試薬は、血清中のたんぱく質中の Cys 残基数 (モル濃度) に比例して反応することが確認された。従って、微量成分であり Cys 残基数が少ないたんぱく質は、そのままでは同定・定量が困難であると予想されるので、限外ろ過法などの手段で微量成分を濃縮した上で、cICAT 法を用いた微量成分の解析研究を行いたい。また、今後、他の同位体標識試薬や iTRAQ 試薬等の新しい解析技術も必要であれば検討する。



#### F. 結論：

研究協力機関からの臨床試料の受け入れのために必要な施設内の倫理審査委員会、個人情報保護のための匿名化システム、試料機器管理システム (LIMS) を確立した。 ヒト標準血清を用いる同位体標識法 (cICAT 法) を検討し、血清前処理法(主要たんぱく質の除去)、cICAT peptide の分離法、nano-LC system/高性能質量分析(Q-Star XL, ABI-4700 等) 解析法、および大量たんぱく質同定・定量解析法(HiSpec System)までの一連の血清疾患関連たんぱく質解析フローをほぼ完成させた。 本システムは、血清疾患関連たんぱく質 (トップ#1~100 種類) の同定と比較定量 (発現差解析) に有効な方法であると考ええる。

#### G. 健康危険情報：

特になし。PF では万全なバイオハザード対策設備を施工している。

#### H. 研究発表：

なし。

#### I. 知的財産権の出願・登録状況：

##### 1. 特許取得：

なし。

##### 2. 実用新案登録：

なし。

##### 3. その他

#### K. 参考文献：

- (1) Alban, A. et al. *Proteomics* 3, 36-44(2003)
- (2) Katayama, H. et al. *Rapid Commun. Mass Spectrum* 15, 1416-1421(2001)
- (3) Kirk, C. et al. *Molecular & Cellular Proteomics*. 2. 299-314 (2003)

研究成果の刊行に関する一覧表

雑誌・書籍

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻名	ページ	出版年
早川 義夫、永田 龍二	バイオロジクスの品質と安全性評価	薬の安全性 (長尾 拓編) 南山堂、東京		33-51	2004
早川 義夫、石井 明子	: バイオ医薬品の現状と将来	J. Integrated Med.	14(2)	142-143	2004
早川 義夫	バイオ創薬の新たな展開と効果的な推進に向けて	Drug Delivery System	19(2)	18	2004
早川 義夫、石井 明子	組換え医薬品	薬学教科書シリーズ (日本薬学会編)、東京化学同人、東京	印刷中		
Masashi HYUGA, Satsuki ITO, Nana KAWASAKI, Miyako OHTA, Akiko ISHII, Sumiko HYUGA and Takao HAYAKAWA	Analysis of Site-Specific Glycosylation in Recombinant Human Follistatin Expressed In Chinese Hamster Ovary Cells	Biologicals	32	70-77	2004
Yuka OKADA, Naoki OKADA, Hiroyuki MIZUGUCHI, Koichi TAKAHASHI, Takao HAYAKAWA, Tadanori MAYUMI, and Nobuyasu MIZUNO	Optimization of antitumor efficacy and safety of in vivo cytokine gene therapy using RGD fiber-mutant adenovirus vector for preexisting murine melanoma.	Biochim. Biophys. Acta.	1670	172-180	2004
Jun OKABE, Akiko EGUCHI, Renu WADHWA, Randeep RAKWAL, Rumi TSUKINOKI, Takao HAYAKAWA and Mahito NAKANISHI	Limited Capacity of the Nuclear Matrix to Bind Telomere Repeat Binding Factor TRF1 May Restrict the Proliferation of Mortal Human Fibroblasts	Human Molecular Genetics	13	1-9	2004
Takafumi NAKAMURA, Kah-Whye PENG, Sompong VONGPUNSAWAD, Hiroyuki MIZUGUCHI, Takao HAYAKAWA, Roberto CATTANEO and Stephen J. RUSSELL	Antibody-targeted cell fusion	Nature Biotech.	22	331-336	2004
J. Q. Gao, L. S. Alexandre, Y. Tsuda, K. Katayama, Y. Eto, F. Sekiguchi, H. Mizuguchi, T. Hayakawa, T. Nakayama, O. Yoshie, Y. Tsutsumi, T. Mayumi and S. Nakagawa	Tumor-suppressive activities by chemokines introduced into OV-HM cells using fiber-mutant adenovirus vectors	Pharmazie	59	238-239	2004
川崎 千子、橋井 則貴、伊藤 さつき、日向 昌司、川西 徹、早川 義夫	LC/MS を用いた糖鎖プロファイリングによるグリコーム解析	生物物理化学	48	5-10	2004
Yohko Gotoh, Shingo Niimi, Takao Hayakawa and Tokuji Miyashita	Preparation of lactose-silk fibroin conjugates and their application as a scaffold for hepatocyte attachment	Biomaterials	25(6)	1131-1140	2004
Xu Z.L., Mizuguchi H., Koizumi N., Sakurai F., Hosono T., Kawabata K., Watanabe Y., Yamaguchi T., Hayakawa T	Approaches to improve the kinetics of adenovirus delivered gene and gene product	Adv. Drug. Deli. Rev.	in press		

Kazufumi Katayama, Koichiro Wada, Hiroyuki Miyoshi, Kozo Ohashi, Masashi Tachibana, Rie Furuki, Hiroyuki Mizuguchi, Takao Hayakawa, Atsushi Nakajima, Takashi Kadowaki, Yasuo Tsutsumi, Shinsaku Nakagawa, Yoshinori Kamisaki, Tadanori Mayumi	RNA interfering approach for clarifying PPAR $\gamma$ pathway using lentiviral vector expressing short hairpin RNA	FEBS Lett.	560	178-182	2004
水口裕之、早川堯夫	アデノウイルスベクター	Mebio	21(4)	8-16	2004
早川堯夫	米国における新薬開発の動向	大阪医薬品協会 会報	662	1-18	2004
Eto Y., Gao J-Q, Sekiguchi F., Kurachi S., Katayama K., Mizuguchi H., Hayakawa T., Tsutsumi Y., Mayumi T., Nakagawa S.	Neutralizing antibody evasion ability of adenovirus vector induced by the bioconjugation of MPEG-SPA	Biol. Pharm. Bull.	27	936-938	2004
Tetsu Kobayashi, Hiroshi Kawai, Takuo Suzuki, Toru Kawanishi, and Takao Hayakawa	Improved sensitivity of insulin in MALDI-TOF MS by premixing matrix CHCA with transferrin	Rapid Communication in Mass Spectrometry	18	1156-1160	2004
Kayoko Takagi, Reiko Teshima, Haruyo Okunuki, Satsuki Ito, Nana Kawasaki, Toru Kawanishi, Takao Hayakawa, Youichi Kohno, Atsuo Urisu and Jun-ichi Sawada	Kinetic Analysis of Pepsin digestion of Chicken Egg White Ovomucoid and Allergenic Potential of Pepsin Fragments	Int. Arch. Allergy Immunol.	136	23-32	2005
Tetsuji Hosono, Hiroyuki Mizuguchi, Kazufumi Katayama, Zhi-Li Xu, Fuminori Sakurai, Akiko Ishii-Watabe, Kenji Kawabata, Teruhide Yamaguchi, Shinsaku Nakagawa, Tadanori Mayumi and Takao Hayakawa	Adenovirus Vector-Mediated Doxycycline-Inducible RNA Interference	Human Gene Ther.	15	813-819	2004
Okada N., Gao J-Q., Sasaki A., Niwa M., Okada Y., Nakayama T., Yoshie O., Mizuguchi H., Hayakawa T., Fujita T., Yamamoto A., Tsutsumi Y., Mayumi T., Nakagawa S.	Anti-tumor activity of chemokine is affected by both kinds of tumors and the activation state of the host's immune system: implications for chemokine-based cancer immunotherapy	Biochem. Biophys. Res. Commun.	317	68-76	2004
Masashi HYUGA, Sumiko HYUGA, Nana KAWASAKI, Miyako OHTA, Satuki ITOH, Shingo NIIMI, Toru KAWANISHI, and Takao HAYAKAWA	Enhancement of hepatocyte growth factor-induced cell scattering in N-acetylglucosaminyltransferase III-transfected HepG2 cells	Biol. Pharm. Bull.	27	781-785	2004

Jian-Qing Gao, Yusuke Eto, Fumiko Sekiguchi, Shinnosuke Kurachi, Kazufumi Katayama, Toshiki Sugita, Hiroyuki Mizuguchi, Takao Hayakawa, Yasuo Tsutsumi, Tadanori Mayumi, Shinsaku Nakagawa	Enhanced Gene Expression of Adenovirus Vector in Tumor Induced by PEGylation	Gene Ther.	submitted		
Akira Harazono, Nana Kawasaki, Toru Kawanishi and Takao Hayakawa	Site-specific glycosylation analysis of human apolipoprotein B100 using high-performance liquid chromatography/electrospray ionization tandem mass spectrometry	Glycobiology	in press		
Shingo Niimi, Mizuho Harashima, Masaru Gamou, Masashi Hyuga, Taiichirou Seki, Toyohiko Ariga, Toru Kawanishi, and Takao Hayakawa	Expression of Annexin III in Primary Cultured Rat Hepatocytes and Inhibition of DNA Synthesis by Suppression of Annexin A3 Expression Using RNA Interference	Biol Pharm Bull.	28	424-428	2005
Naoki Okada, Naoki Mori, Ryosuke Koretomo, Yuka Okada, Takashi Nakayama, Osamu Yoshie, Hiroyuki Mizuguchi, Takao Hayakawa, Shinsaku Nakagawa, Tadanori Mayumi, Takuya Fujita, Akira Yamamoto	Augmentation of the migratory ability of DC-based vaccine into regional lymph nodes by efficient CCR7 gene transduction	Gene Ther.	12	129-139	2005
Naoki Okada, Sayaka Iiyama, Yuka Okada, Hiroyuki Mizuguchi, Takao Hayakawa, Shinsaku Nakagawa, Tadanori Mayumi, Takuya Fujita, Akira Yamamoto	Immunological properties and vaccine efficacy of murine dendritic cells simultaneously expressing melanoma-associated antigen and interleukin-12	Cancer Gene Ther.	12	72-83	2005
Tetsuji Hosono, Hiroyuki Mizuguchi, Kazufumi Katayama, Naoya Koizumi, Kenji Kawabata, Teruhide Yamaguchi, Shinsaku Nakagawa, Yoshiteru Watanabe, Tadanori Mayumi, and Takao Hayakawa	RNA interference of PPAR $\gamma$ using fiber-modified adenovirus vector efficiently suppresses preadipocyte-to-adipocyte differentiation in 3T3-L1 cells	Gene	in press		
Hiroshi Kawai, Takuo Suzuki, Tetsu Kobayashi, Hiroyuki Mizuguchi, Takao Hayakawa and Toru Kawanishi	Simultaneous imaging of initiator/effector caspase activity and mitochondrial membrane potential during cell death in living HeLa cells	Biochim. Biophys. Acta	1693	101-110	2004
Eriko Uchida, Koei Sato, Akiko Iwata, Akiko Ishii-Watabe, Hiroyuki Mizuguchi, Mikio Hikata, Mitsuhiro Murata, Teruhide Yamaguchi, and Takao Hayakawa	An improved method for detection of replication-competent retrovirus in retrovirus vector products	Biologicals	32	139-146	2004

Shingo NIIMI, Masashi HYUGA, Mizuho HARASHIMA, Taichiro SEKI, Toyohiko ARIGA, Toru KAWANISHI, and Takao HAYAKAWA	Isolated small rat hepatocytes express both Annexin III and terminal differentiated hepatocyte markers, tyrosine aminotransferase and tryptophan oxygenase, at the mRNA level	Biol. Pharm. Bull.	27(11)	1864-1866	2004
Hiroshi Kawai, Takuo Suzuki, Tetsu Kobayashi, Haruna Sakurai, Hisayuki Ohata, Kazuo Honda, Iyuki Namekata, Hikaru Tanaka, Koki Shigenobu, Ryu Nakamura, Takao Hayakawa and Toru Kawanishi	Simultaneous real-time detection of inhibitor- and effector-caspase activation by double FRET analysis	J. Pharmaceutica I Sci.	in press		
Hiroko Shibata, Yasuo Yoshioka, Shinji Ikemizu, Kyoko Kobayashi, Yoko Yamamoto, Yohei Mukai, Takayuki Okamoto, Madoka Taniai, Maki Kawamura, Yasuhiro Abe, Shinsaku Nakagawa, Takao Hayakawa, Satoshi Nagata, Yuriko Yamagata, Tadanori Mayumi, Haruhiko Kamada, Yasuo Tsutsumi	Functionalization of TNF- $\alpha$ using phage display technique and PEGylation improves its antitumor therapeutic window	Clinical Cancer Research	in press		
Gao J-Q., Inoue S., Tsukada Y., Katayama K., Eto Y., Kurachi S., Mizuguchi H., Hayakawa T., Tsutsumi Y., Mayumi T., Nakagawa S.	High gene expression of the mutant adenovirus vector, both in vitro and in vivo, with the insertion of integrin-targeting peptide into the fiber	Pharmazie	59	571-572	2004
Sumimoto H., Yamagata S., Shimizu A., Miyoshi H., Mizuguchi H., Hayakawa T., Miyagishi M., Taira K., Kawakami Y.	Gene therapy for human small cell lung carcinoma by inactivation of Skp-2 with virally mediated RNA interference.	Gene Ther.	12	95-100	2005
Hiroyuki Mizuguchi and Takao Hayakawa	Targeted adenovirus vector	Hum. Gene Ther.	15	1034-1044	2004
Eto, Y., Gao, J.-Q., Sekiguchi, F., Kurachi, S., Katayama, K., Mizuguchi, H., Hayakawa, T., Maeda, M., Kawasaki, K., Tsutsumi, Y., Mayumi, T., And Nakagawa, S.	PEGylated adenovirus vectors containing RGD peptides on the tip of PEG show high transduction efficiency and antibody evasion ability	J. Gene Med.	in press		
Koizumi, N., Mizuguchi H., Kondoh, M., Fujii, M., Hayakawa, T., Watanabe, Y.	Efficient gene transfer into human trophoblast cells with adenovirus vector containing chimeric type 5 and 35 fiber protein	Biol. Pharm. Bull.	27	2046-2048	2004

Naoya Koizumi, Masuo Kondoh, Hiroyuki Mizuguchi, Tsuyoshi Nakanishi, Akane Masuyama; Fumie Ida; Makiko Fujii, Takao Hayakawa; Emi Nakashima, Keiichi Tanaka, Yoshiteru Watanabe	Comparison of transgene expression mediated by several fiber-modified adenovirus vectors in trophoblast cells	Placenta	in press		
Kenji Kawabata, Hiroyuki Mizuguchi, Fuminori Sakurai, Teruhide Yamaguchi, Takao Hayakawa	Efficient Gene Transfer into Mouse Embryonic Stem Cells with Adenovirus Vectors	Mol. Ther.	submitted		
Satoru Kamoda, Chie Nomura, Mitsuhiro Kinoshita, Saori Nishiura, Rika Ishikawa, Kazuaki Kakehi, Nana Kawasaki and Takao Hayakawa	Profiling Analysis of Oligosaccharides in Antibody Pharmaceuticals by Capillary Electrophoresis	J. Chromatogr. A	1050	211-216	2004
早川 堯夫、永田龍二	安全性評価の国内規制と技術商品化のための規制、医薬品	遺伝子組換え体安全性評価システムガイドブック、(株)エヌ・ティー・エス、東京、	印刷中		
早川 堯夫	バイオロジクスの将来展望と課題、バイオロジクス	生体由来物質を用いた製品開発、(社)高分子学会編、(株)エヌ・ティー・エス、東京		5-42	2004
新見 伸吾、川西 徹、早川 堯夫	抗体医薬の現状と展望	医薬品研究	印刷中		
Takuo Suzuki, Tomoko Mogami, Hiroshi Kawai, Tetsu Kobayashi, Youichi Shinozaki, Yoji Sato, Toshihiro Hashimoto, Yoshinori Asakawa, Kazuhide Inoue, Yasuo Ohno, Takao Hayakawa and Toru Kawanishi	Screening of novel nuclear receptor agonists by a convenient reporter gene assay system using green fluorescent protein derivatives	Phytomedicine	in press		
Noritaka Hashii, Nana Kawasaki, Satsuki Itoh, Masashi Hyuga, Toru Kawanishi and Takao Hayakawa	Glycomic/glycoproteomic analysis by liquid chromatography/mass spectrometry: Analysis of glycan structural alteration in the cells	Proteomics	submitted		
J. Yuan, Noritaka Hashii, Nana Kawasaki, Satsuki Itoh, Toru Kawanishi and Takao Hayakawa	Isotope tag method for quantitative analysis of carbohydrates by liquid chromatography/mass spectrometry	J. Chromatogr. A.	submitted		
Noritaka Hashii, Nana Kawasaki, Satsuki Itoh, Toru Kawanishi and Takao Hayakawa	Structural characterization of oligosaccharide sequence and linkage using linear ion trap tandem mass spectrometer	Rapid Commun. Mass Spectrom.	submitted		

Satsuki Itoh, Akira Harazono, Nana Kawasaki, Noritaka Hashii, Yukari Matsuishi, Toru Kawanishi and Takao Hayakawa	Glycosylation analysis of glycoproteins by LC/MS/MS: analysis of glycosylation site-specific heterogeneity	J. Electrophoresis	in press		
水口裕之, 早川堯夫	ウイルスベクター	Drug Delivery System	in Press		
Asami Ino, Yasuhiro Naito, Hiroyuki Mizuguchi, Naofumi Handa, Takao Hayakawa, Ichizo Kobayashi	Attempt for somatic gene targeting in vivo with a mutation-reporter mouse system: use of a replication-defective adenovirus vector for gene transfer	J. Gene Med.	Submitted		
早川堯夫、永田龍二	再生医療分野における指針・ガイドライン: 再生医療の適正かつ効果的な推進を目指して: Approaches for Appropriate and Effective Promotion of Regenerative Medicine	再生医療	3(3)	11-19	2004
水口裕之、川端健二、櫻井文教、早川堯夫	改良型アデノウイルスベクターを用いた造血幹細胞、間葉系幹細胞、ES細胞への高効率遺伝子導入: Efficient gene transfer into hematopoietic stem cell, mesenchymal stem cell, and ES cell by modified adenovirus vectors	炎症・再生	印刷中		
Yuka Okada, Naoki Okada, Hiroyuki Mizuguchi, Takao Hayakawa, Shinsaku Nakagawa, Tadanori Mayumi	Transcriptional targeting of RGD fiber-mutant adenovirus vectors can improve the safety of suicide gene therapy for murine melanoma	Cancer Gene Ther.	in press		
Nasimuzzaman M, Kuroda M, Dohno S, Yamamoto T, Iwatsuki K, Matsuzaki S, Rashel M, Kumita W, Mizuguchi H, Hayakawa T, Nakamura H, Taguchi T, Wakiguchi H, Imai S.	Eradication of Epstein-Barr Virus Episome and Associated Inhibition of Infected Tumor Cell Growth by Adenovirus Vector-Mediated Transduction of Dominant-Negative EBNA1	Mol Ther.	in press		
Jian-Qing Gao, Toshiki Sugita, Naoko Kanagawa, Keisuke Iida, Yusuke Eto, Yoshiaki Motomura, Hiroyuki Mizuguchi, Yasuo Tsutsumi, Takao Hayakawa, Tadanori Mayumi, Shinsaku Nakagawa	: A single intratumoral injection of a fiber-mutant adenoviral vector encoding interleukin 12 induces remarkable anti-tumor and anti-metastatic activity in mice with Meth-A fibrosarcoma	Biochem. Biophys. Res. Commun.	in press		
Fuminori Sakurai, Hiroyuki Mizuguchi, Kenji Kawabata, Teruhide Yamaguchi, and Takao Hayakawa	Optimization of adenovirus serotype 35 vectors for efficient transduction in human hematopoietic progenitors: comparison of promoter activities	Gene Ther.	submitted		
Hiroyuki Mizuguchi, Tomomi Sasaki, Kenji Kawabata, Fuminori Sakurai, Takao Hayakawa	Fiber-modified adenovirus vectors mediate efficient gene transfer into human mesenchymal stem cells and adipocytes	Gene Ther.	submitted		

Satsuki ITOH, Akira Harazono, Nana KAWASAKI, Noritaka HASHII, Yukari Matsuishi, Toru KAWANISHI, Takao HAYAKAWA	Glycosylation analysis of glycoproteins by LC/MS/MS: analysis of glycosylation sites and of site-specific heterogeneity	J. Electrophoresis	48	5-10	2004
Okamoto T., Mukai Y., Yoshioka Y., Shibata H., Kawamura M., Yamamoto Y., Nakagawa S., Kamada H., Hayakawa T., Mayumi T., Tsutsumi Y.	The Optimal Construction of Non-immune scFv phage display library from mouse bone marrow and spleen established to select specific scFvs binding to antigens efficiently.	Biochem. Biophys. Res. Commun.	323(2)	583-591	2004
Taki M., Kagawa S., Nishizaki M., Mizuguchi H., Hayakawa T., Kyo S., Nagai K., Urata Y., Tanaka N., Fujiwara T.	Enhanced oncolysis by a tropism-modified telomerase-specific replication-selective adenoviral agent OBP-405 ('Telomelysin-RGD')	Oncogene	in press		
Niimi, S., Harashima, M., Takayama, K., Hara, M., Hyuga, M., Seki, T., Ariga, T., Kawanishi, T., Hayakawa, T.	Thrombomodulin enhances the invasive activity of mouse mammary tumor cells.	J. Biochem (Tokyo)	in press		(2005)
Yoshioka Y., Tsutsumi Y., Ikemizu S., Yamamoto Y., Shibata H., Nishibata T., Mukai Y., Okamoto T., Taniai M., Shimizu T., Kawamura M., Abe Y., Nakagawa S., Nagata S., Yamagata Y., Mayumi T.	Optimal site-specific PEGylation of mutant TNF-alpha improves its antitumor potency.	Biochem. Biophys. Res. Commun.	315(4)	808-814	2004
Kaneda Y., Tsutsumi Y., Yoshioka Y., Kamada H., Yamamoto Y., Kodaira H., Tsunoda S., Okamoto T., Mukai Y., Shibata H., Nakagawa S., Mayumi T.	The use of PVP as a polymeric carrier to improve the plasma half-life of drugs.	Biomaterials	25(16)	3259-3266	2004
Yamamoto Y., Tsutsumi Y., Yoshioka Y., Kamada H., Kamada-Sato K., Okamoto T., Mukai Y., Nakagawa S., Mayumi T.	Poly(vinylpyrrolidone-co-dimethyl maleic acid) as a novel renal targeting carrier.	J. Control. Release.	95(2)	229-237	2004
Kodaira H., Tsutsumi Y., Yoshioka Y., Kamada H., Kaneda Y., Yamamoto Y., Tsunoda S., Okamoto T., Mukai Y., Shibata H., Nakagawa S., Mayumi T.	The targetting of anionized polyvinylpyrrolidone to the renal system.	Biomaterials.	25	4309-4315	2004
Yoshioka Y., Tsutsumi Y., Kamada H., Kihira T., Tsunoda S., Yamamoto Y., Okamoto T., Shibata H., Mukai Y., Taniai M., Shimizu T., Kawamura M., Abe Y., Nakagawa S., Mayumi T.	Selective enhancer of tumor vascular permeability for optimization of cancer chemotherapy.	Biol. Pharm. Bull.	27	437-439	2004
Kamada H., Tsutsumi Y., Yoshioka Y., Yamamoto Y., Kodaiara H., Tsunoda S., Okamoto T., Mukai Y., Shibata H., Nakagawa S., Mayumi T.	Design of a pH-sensitive polymeric carrier for drug release and its application in cancer therapy.	Clin. Cancer Res.	10(7)	2545-2550	2004



Yoshioka Y., Tsutsumi Y., Mukai Y., Shibata H., Okamoto T., Kaneda Y., Tsunoda S., Kamada H., Koizumi K., Yamamoto Y., Mu Y., Kodaira H., Kamada-Sato K., Nakagawa S., Mayumi T.	Effective accumulation of poly(vinylpyrrolidone-co-vinyl laurate) into the spleen.	J. Biomed. Materials Res.	70A(2)	219-223	2004
Yoshikawa T., Imazu S., Gao J.Q., Hayashi K., Tsuda Y., Shimokawa M., Sugita T., Niwa T., Oda A., Akashi M., Tsutsumi Y., Mayumi T., Nakagawa S.	Augmentation of antigen specific immune responses using DNA-fusogenic liposome vaccine.	Biochem. Biophys. Res. Commun.	325(2)	500-505	2004
Shibata H., Yoshioka Y., Ikemizu S., Kobayashi K., Yamamoto Y., Mukai Y., Okamoto T., Taniai M., Kawamura M., Abe Y., Nakagawa S., Nagata S., Yamagata Y., Mayumi T., Tsutsumi Y. :	Functionalization of TNF-alpha using phage display technique and PEGylation improves its antitumor therapeutic window.	Clin. Cancer Res.	10(24)	8293-8300	2004
Yoshioka Y., Tsutsumi Y., Nakagawa S., Mayumi T. :	Recent progress on tumor missile therapy and tumor vascular targeting therapy as a new approach.	Curr. Vasc. Pharmacol.	2	259-270	2004
Okamoto T., Nakagawa S., Tsutsumi Y.	The optimal molecular design of polymeric drug carriers and its application for renal drug targeting.	Gene Ther. Mol. Biol.	8	221-229	2004
Shibata H., Nakagawa S., Mayumi T., Tsutsumi Y. :	Development of novel drug delivery system technologies for proteomic-based drug development.	Biol Pharm. Bull.	27(10)	1483-1488	2004
堤 康央	たんぱく療法最適化に叶うDDSの開発を目指して.	薬剤学(生命とくすり)	64(3)	159-163	2004
柴田寛子, 真弓忠範, 堤康央	たんぱく療法最適化に叶う新たな薬物送達戦略.	医学のあゆみ.	210(9)	730-736	2004
堤 康央 :	プロテオーム創薬に叶うDDS基盤技術の開発.	薬学雑誌	124(11)	769-780	2004
向 洋平, 真弓忠範, 堤康央	フェージ表面提示法を駆使した機能性人工たんぱく質の創製とDDSへの応用.	Bioベンチャー	4(6)	65-68	2004
Sugita T., Yoshikawa T., Gao J.Q., Shimokawa M., Oda A., Niwa T., Akashi M., Tsutsumi Y., Mayumi T., Nakagawa S.	Fusogenic liposome can be used as an effective vaccine carrier for peptide vaccination to induce CTL response.	Biol. Pharm. Bull.	28(1)	192-193	2005
Shibata H., Shinsaku Nakagawa, Tsutsumi Y. :	Optimization of protein therapies by polymer-conjugation as an effective DDS.	Molecules	10	162-180	2005
Mori K, Miyazato M, Ida T, Murakami N, Serino R, Ueta Y, Kojima M, Kangawa K.	Identification of neuromedin S and its possible role in the mammalian circadian oscillator system.	EMBO J	24	325-335	2005

Hosoda H, Doi K, Nagaya N, Okumura H, Nakagawa E, Enomoto M, Ono F, Kangawa K.	Optimum collection and storage conditions for ghrelin measurements: octanoyl modification of ghrelin is rapidly hydrolyzed to desacyl ghrelin in blood samples.	Clin Chem	50	1077-1080	2004
Hanada T, Toshinai K, Date Y, Kajimura N, Tsukada T, Hayashi Y, Kangawa K, Nakazato M.	Upregulation of ghrelin expression in cachectic nude mice bearing human melanoma cells.	Metabolism	53	84-88	2004
Suzuki H, Masaoka T, Hosoda H, Ota T, Minegishi Y, Nomura S, Kangawa K, Ishii H.	Helicobacter pylori infection modifies gastric and plasma ghrelin dynamics in Mongolian gerbils.	Gut	53	187-194	2004
Shibata K, Hosoda H, Kojima M, Kangawa K, Makino Y, Makino I, Kawarabayashi T, Futagami K, Gomita Y.	Regulation of ghrelin secretion during pregnancy and lactation in the rat: possible involvement of hypothalamus.	Peptides	25	279-287	2004
Nakai Y, Hosoda H, Nin K, Ooya C, Hayashi H, Akamizu T, Kangawa K.	Short-term secretory regulation of active form of ghrelin and total ghrelin during oral glucose tolerance test in patients with anorexia nervosa.	Eur J Endocrinol	150	913-914	2004
Itoh T, Nagaya N, Yoshikawa M, Fukuoka A, Takenaka H, Shimizu Y, Haruta Y, Oya H, Yamagishi M, Hosoda H, Kangawa K, Kimura H.	Elevated plasma ghrelin level in underweight patients with chronic obstructive pulmonary disease.	Am J Respir Crit Care Med	170	879-882	2004
S. Takeda, T. Okada, M. Okamura, T. Haga, J. Isoyama-Tanaka, H. Kuwahara and N. Minamino:	The receptor-G $\alpha$ - fusion protein as a tool for ligand screening: a model study using a nociceptin receptor-G $\alpha$ i2 fusion protein.	J. Biochem. (Tokyo)	135	597-604	2004
S.M. Guan, H. Nagata, K. Maeda, M. Kuboniwa, N. Minamino and S. Shizukuishi	Purification and characterization of a hemoglobin-binding outer membrane protein of Prevotella intermedia.	FEMS Microbiol Lett	235	333-339	2004
Y. Takei, S. Hyodo, T. Katafuchi and N. Minamino	Fish-derived novel adrenomedullin in mammals: its structure and function.	Peptides	25	1643-1656	2004
T. Katafuchi and N. Minamino:	Structure and biological properties of three calcitonin receptor-stimulating peptides, novel members of the calcitonin gene-related peptide family.	Peptides	25	2039-2045	2004
佐々木一樹、磯山正治、南野直人:	ペプチドーム解析の現状と展望	実験医学	23	585-592	2005
Akazawa, C., Nakamura, Y., Sango, K., Horie, H. and Kohsaka, S.:	Distribution of the galectin-1 mRNA in the rat nervous system; its transient upregulation in rat facial motor neurons after facial nerve axotomy.	Neurosci	125	171-178	2004

Akazawa, C., Tsuzuki, H., Nakamura, Y., Sasaki Y., Ohsaki, K., Nakamura, S. Arakawa, Y. and Kohsaka, S.:	The upregulated expression of sonic hedgehog in motor neurons after rat facial nerve axotomy.	J. Neurosci.	24	7923-7930	2004
Nakajima, K., Tohyama, Y., Kurihara, T. and Kohsaka, S.:	Axotomy-dependent urokinase induction in the rat facial nucleus: possible stimulation of microglia by neurons.	Neurochem Int	46	107-116	2005
Kamitori, K., Tanaka, M. and Kohsaka, S.	Receptor related to tyrosine kinase RYK regulates cell migration during cortical development	Biochem Biophys Res Commun.	in Press		2005
Hirasawa, T., Ohsawa, K., Imai, Y., Ondo, Y., Uchino, S. and Kohsaka, S.	Visualization of microglia in living tissues by using Iba-1EGFP transgenic mice.,	J. Neurosci. Res.	in press		2005
Castegna, A., Thongboonkerd, V., Klein, J., Lynn, B., Wang, Y.L., Osaka, H., Wada, K. and Butterfield, D.A.	Proteomic analysis of brain proteins in the gracile axonal dystrophy (gad) mouse, a syndrome that emanates from dysfunctional ubiquitin carboxyl-terminal hydrolase L-1, reveals oxidation of key proteins.	J. Neurochem.	88	1540-1546	2004
Bonin, M., Poths, S., Osaka, H., Wang, Y.L., Wada, K. and Riess, O.	Microarray expression analysis of gad mice implicates involvement of Parkinson's disease associated UCH-L1 in multiple metabolic pathways.	Mol Brain Res	126	88-97	2004
Wang, Y.L., Takeda, A., Osaka, H., Hara, Y., Furuta, A., Setsuie, R., Sun, Y.J., Kwon, J., Sato, Y., Sakurai, M., Noda, M., Yoshikawa, Y. and Wada, K.	Accumulation of $\beta$ - and $\gamma$ -synucleins in the ubiquitin C-terminal hydrolase L1 deficient gad mouse.	Brain Res	1019	1-9	2004
Kwon, J., Wang, Y.L., Setsuie, R., Sekiguchi, S., Sato, Y., Sakurai, M., Noda, M., Aoki, S., Yoshikawa, Y. and Wada, K.	Two closely related ubiquitin C-terminal hydrolase isozymes function as reciprocal modulators of germ cell apoptosis in cryptorchid testes.	Am. J. Pathol.	165	1367-1374	2004
Kubota, T., Furuumi, H., Kamoda, T., Iwasaki, N., Tobita, N., Fujiwara, N., Goto, Y., Matsui, A., Sasaki, H. and Kajii, T.	ICF syndrome in a girl with DNA hypomethylation but without detectable DNMT3B mutation.	American J. of Medical Genetics	129A	290-293	2004
Yamashita R, Fujiwara Y, Yuan X, Yazuda K, Kaburagi Y.	2D-LC-MS/MS Analysis of secreted proteins from HepG2 cells.	J Electrophoresis	in press		
Yamashita R, Yazuda K, Kaburagi Y.	Proteomic analysis of proteins secreted from hepatocytes.	J Mass Spectrom Soc Jpn	in press		
Yasuda E, Tokuda H, Ishisaki A, Hirade K, Kanno Y, Hanai Y, Nakamura N, Noda T, Katagiri Y, Kozawa O.	PPAR- $\gamma$ ligands up-regulate basic fibroblast growth factor-induced VEGF release through amplifying SAPK/JNK activation in osteoblasts.	Biochem Biophys Res Commun.	328	137-143	2005

Kanno Y, Ishisaki A, Yoshida M, Nakajima K, Tokuda H, Numata O, Kozawa O.	Adenylyl cyclase-cAMP system inhibits thyroid hormone-stimulated osteocalcin synthesis in osteoblasts.	Mol Cell Endocrinol.	229	75-82	2005
Kanno Y, Tokuda H, Nakajima K, Ishisaki A, Shibata T, Numata O, Kozawa O.	Involvement of SAPK/JNK in prostaglandin E <sub>1</sub> -induced VEGF synthesis in osteoblast-like cells.	Mol Cell Endocrinol.	220	89-95	2004
Tokuda H, Niwa M, Ishisaki A, Nakajima K, Ito H, Kato K, Kozawa O.	Involvement of stress-activated protein kinase (SAPK)/c-Jun N-terminal kinase (JNK) in prostaglandin F <sub>2α</sub> -induced heat shock protein 27 in osteoblasts.	Prost Leukot Essent Fatty Acids	70	441-447	2004
Ishisaki A, Tokuda H, Yoshida M, Hirade K, Kunieda K, Hatakeyama D, Shibata T, Kozawa O.	Activation of p38 mitogen-activated protein kinase mediates thyroid hormone-stimulated osteocalcin synthesis in osteoblasts. . . .	Mol Cell Endocrinol.	214	189-195	2004
Tokuda H, Kanno Y, Ishisaki A, Takenaka M, Harada A, Kozawa O.	Interleukin (IL)-17 enhances tumor necrosis factor- $\alpha$ -stimulated IL-6 synthesis via p38 mitogen-activated protein kinase in osteoblasts.	J Cell Biochem.	91	1053-1061	2004
Uchiyama S, Kobayashi S, Takata H, Ishihara T, Hori N, Higashi T, Hayashihara K, Sone T, Higo D, Nirasawa T, Takao T, Matsunaga S, Fukui K. :	Proteome analysis of human metaphase chromosomes.	J Biol. Chem.	in press.		
Wada A, Wang AP, Isomoto H, Satomi Y, Takao T, Takahashi A, Awata S, Nomura T, Fujii Y, Kohno S, Okamoto K, Moss J, Millan JL, Hirayama T. :	Placental and intestinal alkaline phosphatases are receptors for Aeromonas sobria hemolysin.	Int J Med Microbiol.	294	427-435	2005
Satomi Y., Kudo Y., Sasaki K., Takao T.	Accurate Mass Measurement in Nanoflow Electrospray Ionization Mass Spectrometry by Alternately Potentiating Sample and Reference Sprayers.	Rapid Commun. Mass Spectrom.	19	540-546	2005
Kasai H., Satomi Y., Fukada Y., Takao T.	Top-Down Analysis of Protein Isoprenylation by Electrospray Ionization Hybrid Quadrupole-TOF Tandem Mass Spectrometry.	Rapid Commun. Mass Spectrom.	19	269-274	2005
Teranishi H, Muneoka Y, Takao T, Shimonishi Y, Kojima M.	Isolation and characterization of four VIP-related peptides from red-bellied newt	Cynops pyrrhogaster. Regul. Pept.	15:123	173-179	2004
Satomi Y., Shimonishi Y., Takao T.	Site-specific Carbohydrate Profiling of Human Transferrin by Nano-flow Liquid Chromatography/Electrospray Ionization Mass Spectrometry.	Rapid Commun. Mass Spectrom.	18	2983-2988	2004
Satomi Y., Shimonishi Y., Takao T.	N-glycosylation at Asn491 in the Asn-Xaa-Cys motif of Human Transferrin.	FEBS letters	576	51-56	2004